

市民の会ニュース第百号発行おめでとうございました。次第にグループ会わせだと信じていきます。

私の個人的な話では、ジオパーク構想のパン「継続は力なり」とありますが、思い起こすにフレットを作成したり、申しませんが、市民のせは前からジオマスター講座を開会ニュースが百号を10年以上前催するなどジオパーク迎えられたことは、のこと、平成認定への機運が高まつ皆さんの活動が連続20年に千葉ていきました。そしてと繋がっている証拠科学大学の平成二十三年二月に銚子であり、誰よりも銚安藤先生の子ジオパーク推進市民子ジオパークを愛声掛けで市の会が誕生しました。し、地域の将来を素晴民有志が集私は理事に任命されまらしいものにしよとまり、銚子市したが、会の順調な運いう情熱に満ちあふれにおいてジ営を見届けて一年で理ているからだと思いまオパーク認事を降りました。そのす。ぜひ二百号と言わ定をめぐす後も一会員として銚子千号を目指して、活動がスタジオパークと市民の会益々活躍されることトしまし活動の応援してきまを願っています。

市民の会ニュース100号に寄せて

推進協議会事務局長 小川正俊

た。当時、私は観光商工課の係長でしたが、地学好きが高じて一市民としてグループに参加しました。

グループは定期的な集まり、のぼり旗やステッカーを作成したり、千葉科学大会を会場とした市民向けジオ講座



犬吠埼周辺清掃

銚子ジオ紙芝居

石毛克也

恒例「ラス トサマー2019」の盛り上げご協力に「ひびき連合」イオン盆踊り会場で、銚子ジオ紙芝居を上演致す。

私の時代の若者たちに銚子の魅力を「銚子ジオ紙芝居」で伝える企画です。

プロシエは銚子商業プロジェクトさんの枠で実施して、銚子商業の生徒さん、千葉商科大学の学生さんをメインに、これから旬を迎える「銚子のサンマの美味しい話し」を上演致し喜んで頂きました。

美味しいサンマが食べられるのも銚子の豊かなジオの恵みです。

「ジオパーク活動に参加したいきさつ」

小玉健次郎

2011年の東日本大震災は今でも鮮明に思い出されますが、その直後にあつた母校の同窓会で、みなから継続しています。震災と地震に関する詳細な講演があり、最後に「地球科学が学者の占有になつていて、かねてから専門家の間で問題視されていた。最新の情報を市民にわかりやすく伝達し、理解してもらうことが重要であると考え、ジオパークという活動を推進している」との説明がありました。

同じ頃、「千葉科学大学で銚子ジオパーク講座開催」という案内を「広報ちょうし」で見つけ、早速参加しました。

講座は、熱気にあふれ、毎回目からウロコの連続でした。その後何年たっても初めて聞くような新しい知識、情報がいつぱい

ギフト ～ジオの恵み～

房州 文子

ジオの恵みという、銚子なら「魚」、「キャベツ」、「しよらゆ」。また、千葉県最古の奇岩「犬岩」や10kmも

「屏風ヶ浦」等々を思い浮かべると思いますが、私にとつてのジオの恵み(贈り物)は、なんといっても、「人」です。

ジオパークに関わって8年が過ぎ、沢山の仲間にお友達が出来ました。ただの主婦の私がジオパークのおかげで専門員の先生方や博物館や大学の先生方とお話しさせていただくこともできました。いつも家族に言われます、「あなたは良い物に出会えたね!!」

これからもジオパークが繋いでくれた「網」を大切に、更に大きく紡いでいきたいと思ひます。100号おめでとうございます。

